

スロバキアワイン概要

駐日スロバキア共和国大使館監修

2025年3月

駐日スロバキア共和国大使館 イヴァン・スルコシュ大使ご挨拶



Slovakia, a country blessed with stunning natural beauty and a rich historical tapestry, is home to wines renowned for their unique flavours and exceptional quality. Our wines masterfully blend tradition with innovation.

Slovakia is only one-seventh the size of Japan, yet boasts a winemaking tradition spanning over 2,000 years. Slovak wines have long been cherished by notable figures; for instance, Empress Maria Theresa of the Habsburgs favoured Slovak red wine, and Slovak white wine was even served on the luxury ocean liner Titanic.

Slovak wines are steadily gaining recognition for their quality, diversity, and authenticity. This was evident at the SAKURA AWARDS 2024, one of Japan's largest wine contests, where Slovak wines garnered a total of 29 medals. I am delighted to see Slovak wines becoming more visible in Japan, available in wine stores, online shops, and wine bars.

Wine has always held a special place in my heart. Nitra, my birthplace, and Bratislava, the capital city where I have lived for many years, are surrounded by vineyards and host vibrant wine festivals. It would be a great pleasure for me if you would try and enjoy Slovak wine, born from the rich terroir of Slovakia. Whether you're savouring a dry Riesling or the luscious sweetness of a Tokaj dessert wine, Slovak wine promises an unforgettable journey for your palate.

It's time to uncork the hidden treasures of Slovakia and savour its liquid heritage. All you need to do is take the first sip!



駐日スロバキア共和国大使館 イヴァン・スルコシュ大使ご挨拶



<大使挨拶和訳案>

息を呑むような自然美と豊かな歴史に恵まれたスロバキアは、独特の風味と卓越した品質で知られるワインの産地です。私たちのワインは、伝統と革新を見事に融合させています。

スロバキアは日本の7分の1ほどの国土面積しかありませんが、2000年以上続くワイン造りの伝統を誇ります。スロバキアワインは古くから著名人に愛されてきました。例えば、ハプスブルク家のマリア・テレジアはスロバキアの赤ワインを愛用し、スロバキアの白ワインは豪華客船タイタニック号でも提供されました。

スロバキアワインは、その品質、多様性、そして信頼性で着実に認知度を高めています。これは、日本最大級のワインコンテストの一つであるサクラアワード2024で、スロバキアワインが合計29個のメダルを獲得したことから明らかです。ワインショップ、オンラインショップ、ワインバーなどで、スロバキアワインが日本でより多く見られるようになっていることを大変嬉しく思います。

ワインは私にとって常に特別な場所を占めてきました。生まれ故郷のニトラと、長年暮らしてきた首都ブラチスラバは、ブドウ畑に囲まれ、活気あふれるワインフェスティバルが開催されます。スロバキアの豊かなテロワールから生まれたスロバキアワインを、ぜひご賞味ください。辛口のリースリングでも、甘美なトカイのデザートワインでも、スロバキアワインはあなたの味覚に忘れられない旅を約束します。

さあ、スロバキアの秘宝のコルクを開け、その豊かな伝統を味わう時が来ました。必要なのは、最初の一口を味わうことです！



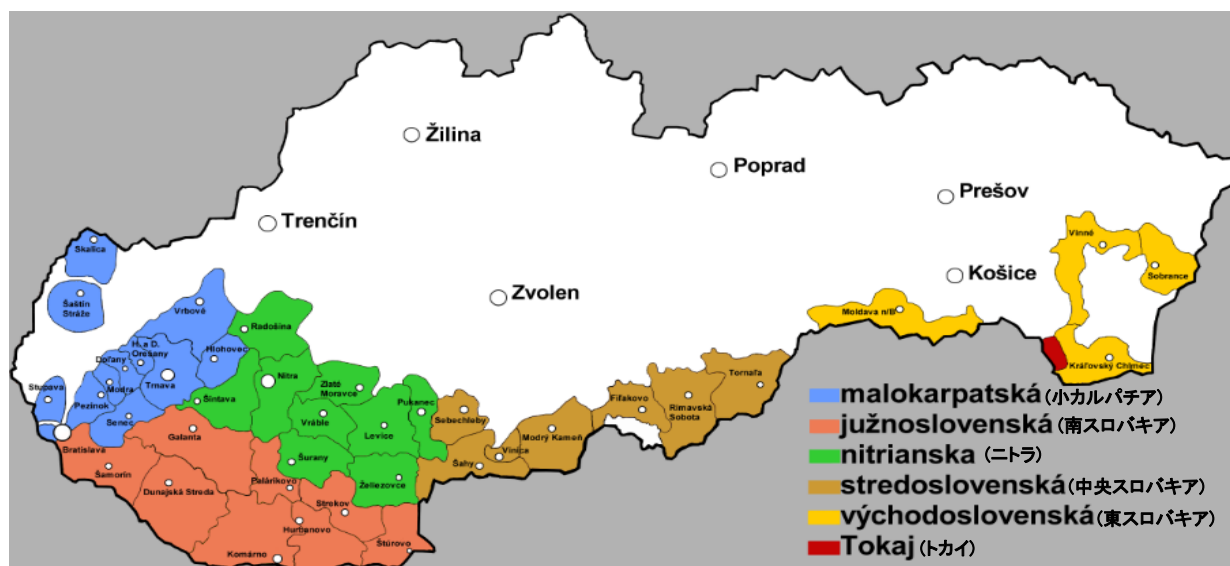
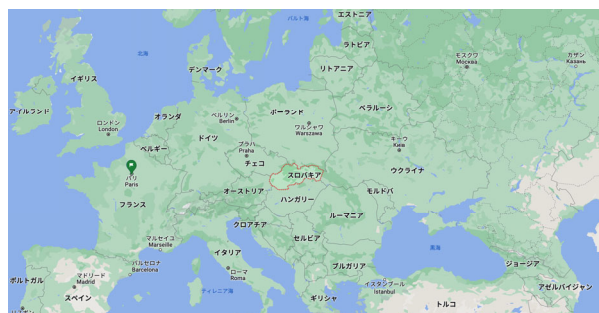
EMBASSY

OF THE SLOVAK REPUBLIC
IN TOKYO

目 次

・ プロフィール	P1
・ 歴史	P2
・ 気候風土と主な産地	P2
・ 主な葡萄品種	P3
・ ワイン法と品質分類	P4
・ ワイン産地と特徴	P6
・ 食文化と料理	P9
・ 参考資料	P10

スロバキアワインの 全体像と概要



プロフィール

スロバキアは中央ヨーロッパにある共和国で、1993年にチェコスロバキアとの連邦を解消し独立した若い国家である。緑豊かな土地柄農業国と思われがちだが、特に第二次世界大戦後の共産主義時代に重点的に工業化され軍需産業、重工業が発展、現在の主要産業も自動車産業や電気産業で、国民1000人当たりの自動車生産数は202台と世界一で(2019年)あり、意外に思われる面も持つ。独立以降、着実な経済発展を続けている。

国土の面積は49,037km²(日本の13%)で、北海道の60%程度、九州+高知県程度の大きさであり、中部、北部にカルパチア山系のタトラ山脈が、ドナウ川沿いの南西部には平原が広がる。東西400km/南北200kmで、南西にオーストリア、北西にチェコ、北にポーランド、南にハンガリー、東にウクライナと隣接している。中世より交通の要衝で歴史的に大国の傘下に入ることが何度もあったことも多様な食文化に影響を与えている。首都はブラチスラバ。

また人口は546万人(日本の約4%)で、85%がスロバキア人、8.5%がハンガリー人、その他にロマ人(ジプシー)、チェコ人、ルシーン人、ウクライナ人等となる。

近年、国内での葡萄の栽培面積は減少傾向であるが生産者数は増加傾向である。ワイン生産の歴史は長く、現存するワイナリーには、500年近く前からその場所でワインを作っている生産者もある一方、若い国家として一つ一つワイン生産の文化を民族的アイデンティティの一面として、積み上げている側面も有る。伝統と革新、驚くほどの多様性、素朴、実直がスロバキアワインのキーワードと言える。

収穫可能葡萄栽培面積は約11,000ha、ワインの総生産量は32万hl、国内でのワイン消費量は69万hl。国民一人当たりの年間ワイン消費量は13L。ワイン生産者数は769(2022年7月現在)

歴史

スロバキアの葡萄栽培の歴史は2500年以上前迄遡る事が出来、紀元前6世紀から7世紀頃と思われる。考古学的発見によってこの地方で最初に葡萄を育てたのはケルト人であったとされている。また、葡萄収穫用ナイフ七本および一個の陶器製ワイン杯の発見により、ローマ人到着以前既にスロバキアでワインの生産が行われていた事が証明されている。その後、葡萄栽培の歴史は13世紀頃まで繁栄が続くが、タタール人の侵入により葡萄園の大半が破壊され、復活には15世紀頃の入植者、西部地域のドイツ人の移動まで待たなければならなかった。年間のワイン生産量は16世紀後半には65万～70万hlに達するが、その後は減少に転じ長く低迷、19世紀末から20世紀初期にはスロバキアでもフィロキセラや第一次世界大戦、世界的な経済危機のあおりで減少傾向は続き、その後1960年代にかけて生産量はピークに転ずるが、これは他の旧共産圏の国々同様に品質とは関りの無い集団農場化と大量生産によるものであった。1980年代終盤の民主化の流れと、1993年の建国後もしばらくはこの流れが続いていたが、1996年にはテーブルワインとクオリティーワイン(後述)の比率が1:1で生産量も約55万hlであったのに対し、2005年にはこの比率が1:7となり生産量も20万hlとなり、以降はその流れを維持し続け今日では全体の生産量にテーブルワインが占める割合は毎年10%を切る様になっている。

気候風土と産地

ヨーロッパ大陸の中央に位置する内陸のスロバキアの気候条件はチェコ、ハンガリー、オーストリアと似ていると言われる。やや大陸性気候で西ヨーロッパと比べ季節の移り変わりが顕著で、夏は比較的短い日照時間と地中海方面を上回る事もある暖かさが特徴で夏と冬の平均気温の温度差は20℃程度である。国土の南部に東西に葡萄産地が広がっている為、北緯48度前後に集中している。

産地の緯度は北緯48度でアメリカ・ワシントン州と同緯度である。国の中央～北部に山脈地帯があるため、ワイン用ブドウの産地は南側中心で、基本、大陸性気候である。ワイン産地は大きくは西部(オーストリアと接する、あるいは近い地域)と南東部(ハンガリーと隣接するトカイ地域)に分かれる。西部はヴェルトリンスケ・ゼレネ(グリュナー・ヴェルトリーナー)、フランコフカ・モドラ(ブラウフレンキッシュ)といったオーストリアと共通の品種が多いが、リースリング、ピノブラン、カベルネ・ソーヴィニヨンといった国際品種も栽培されている。ワイン造りは近代的なワインメイキングが多い。一方、ハンガリーに接する東部は、トカイ地方を中心とした甘口ワインが中心となる。トカイ地方の真ん中を国境線が跨っており、14%がスロバキア側となる。

スロバキアワインの特徴と魅力

スロバキアワインの特徴は、まず、「やさしさ」が第一にあげられる。アルコールが低めであり、主張が強すぎず、お料理に寄り添うところが特徴的である。家庭料理にベストマッチしたスロバキアワインは、自然な形でスロバキアの人たちの生活に共存している。スロバキアのワイン市場では多様化が進み、ローアルコール飲料の消費者が増えている一方、スロバキアワインは全体的にアルコールが低くライトな味わいであるため、まだまだ期待がされている。

2つ目の特徴は、品種が60種近くあり、多様であることである。生産量の多くは、ヴェルトリンスケ・ゼレネ(グリュナー・ヴェルトリーナー)、フランコフカ・モドラ(ブラウフレンキッシュ)および国際品種(リースリング、ピノブラン、ゲヴェルツトラミネール、カベルネ・ソーヴィニヨン、ピノノワール等)で占められているが、魅力的な土着品種も多くある。例えばアロマティックなデヴィーン(白葡萄)、はなやかなイエローマスカット(白葡萄、トカイにも使用)、スパイシーなアリベルネ(黒葡萄)は生産量が少ないながらも独特の味わいがあり、存在感を示している。スロバキアワインは和食を含め、お料理の多様性を受け止めるだけの品種の多様さがあるともいえる。

主な葡萄品種

白葡萄、黒葡萄の比率は近年3:1と全体の75%を白葡萄が占める。
 その中でも代表的な物がヴェルトリンスケ・ゼレネ (Veltlínske zelené=グリーンナー・ヴェルトリーナー) で全栽培面積の17.7%を占め、黒葡萄はフランコフカ・モドラ (Frankovka modrá=ブラウフレンキッシュ) である。(同9.4%)
 土着品種、国際品種を合わせて58品種が栽培されている。

【品種別栽培比率】

葡萄品種(白葡萄)	全栽培面積比率
Veltlínske zelené ヴェルトリンスケ・ゼレネ＝ グリーンナー・ヴェルトリーナー	17.7%
Rízling vlašský リースリング・ヴラスキー	14.5%
Müller-Thurgau ミュラー・トゥルガウ	8.9%
Rízling rýnský リースリング・リンスキー	5.3%
Rulandské biele ルーランスケ・ビエレ＝ ピノ・ブラン	4.6%
Tramín červený トラミン・チェルヴェニー＝ ゲヴェルツトラミネール	2.4%
Dievčie hrozno ディエヴチエ・フロズノ	2.4%
Irsai Oliver イルサイ・オリヴァー	2.1%
Furmint フルミント	2.0%
Chardonnay シャルドネ	1.9%

葡萄品種(黒葡萄)	全栽培面積比率
Frankovka modrá フランコフカ・モドラ＝ ブラウフレンキッシュ	9.4%
Svätovavrinské スヴェトヴァヴリンツケ＝ ザンクト・ローレント	6.9%
Cabernet Sauvignon カベルネ・ソーヴィニヨン	3.4%
André アンドレ	1.5%
Alibernet アリベルネ	1.5%
Rulandské modré ルーランスケ・モドレ＝ ピノ・ノワール	1.4%
Zweigeltrebe ツヴァイゲルトレーベ	0.8%
Modrý Portugal モドリィ・ポーチュガル＝ ポルトギーザー	0.7%
Dunaj デュナイ	0.4%
Neronet ネロネテット	0.2%

Source: スロバキア統計局

【土着・固有品種】

Pálava (パラヴァ)	ゲヴェルツトラミネール×ミュラー・トゥルガウ 品種の出自からも想像できるようにアロマティックな品種、甘口も辛口も有る。
Devín (デヴィン)	ゲヴェルツトラミネール×ヴェルトリンスケ・チェルヴェーノ・スコーレ(マルヴァジア) アロマティックな品種、甘口も辛口もあるが甘いものに秀逸なものが多い。
Alibernet (アリベルネ)	アリカンテ・ブーシェ×カベルネ・ソーヴィニヨン ウクライナ原産の品種だがスロヴァキアで定着。色調の濃さとスパイシーさが特徴
Dunaj (デュナイ)	(ミスカ・ブーシェ×オポルト) ×スヴァトヴァヴリンツケ(ザンクト・ローレント) 1958年にブラチスラバの研究所で交配されたが登録されたのは1997年

ワイン法と品質分類

1993年のスロバキア建国時は今よりもより冷涼な土地であり、栽培時に葡萄を間引く事も無く、酸度の高い葡萄を大量に収穫し補糖を行っていた歴史から、1996年に収穫時の葡萄の糖度で格付けを行うドイツ的なワイン法が施行された。糖度の単位はスロバキア独特の単位でNM (Normalizovaný muštomer) である。これは、マストメーター(糖度を図る器具)を使って数値化したもの。

1NM=マスト1hlに1kgの糖分(10g/L)

NM度 エスクレ度、KMW度との比較

NM	Oe	KMW
19	83.9	17.1
20	87.7	17.8
21	91.5	18.6
22	95.4	19.3
23	99.2	20.0
24	103.1	20.8
25	106.9	21.5
26	110.8	22.2
27	114.6	23.0

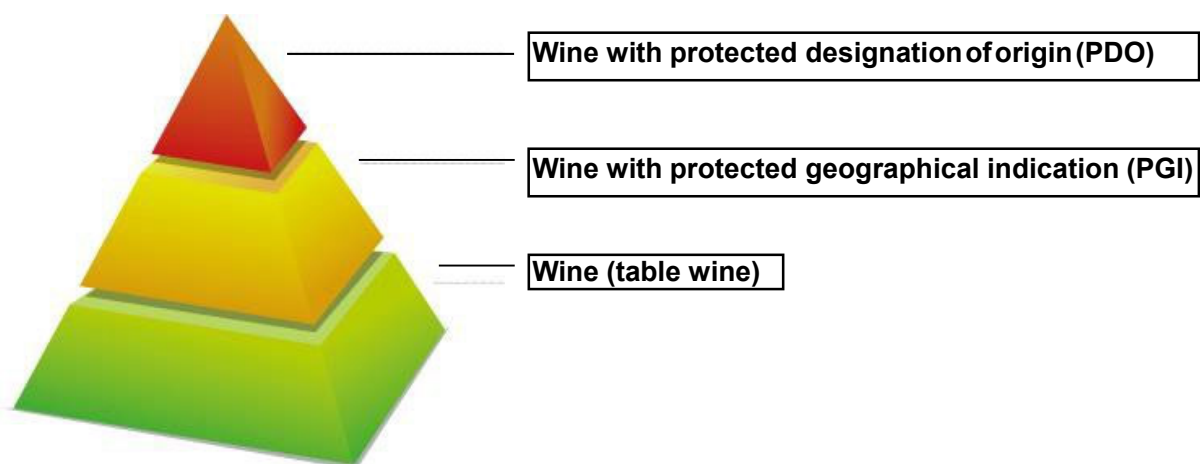
マストメーター



スロバキアワインは以下の3つのカテゴリーに大きく分類される。

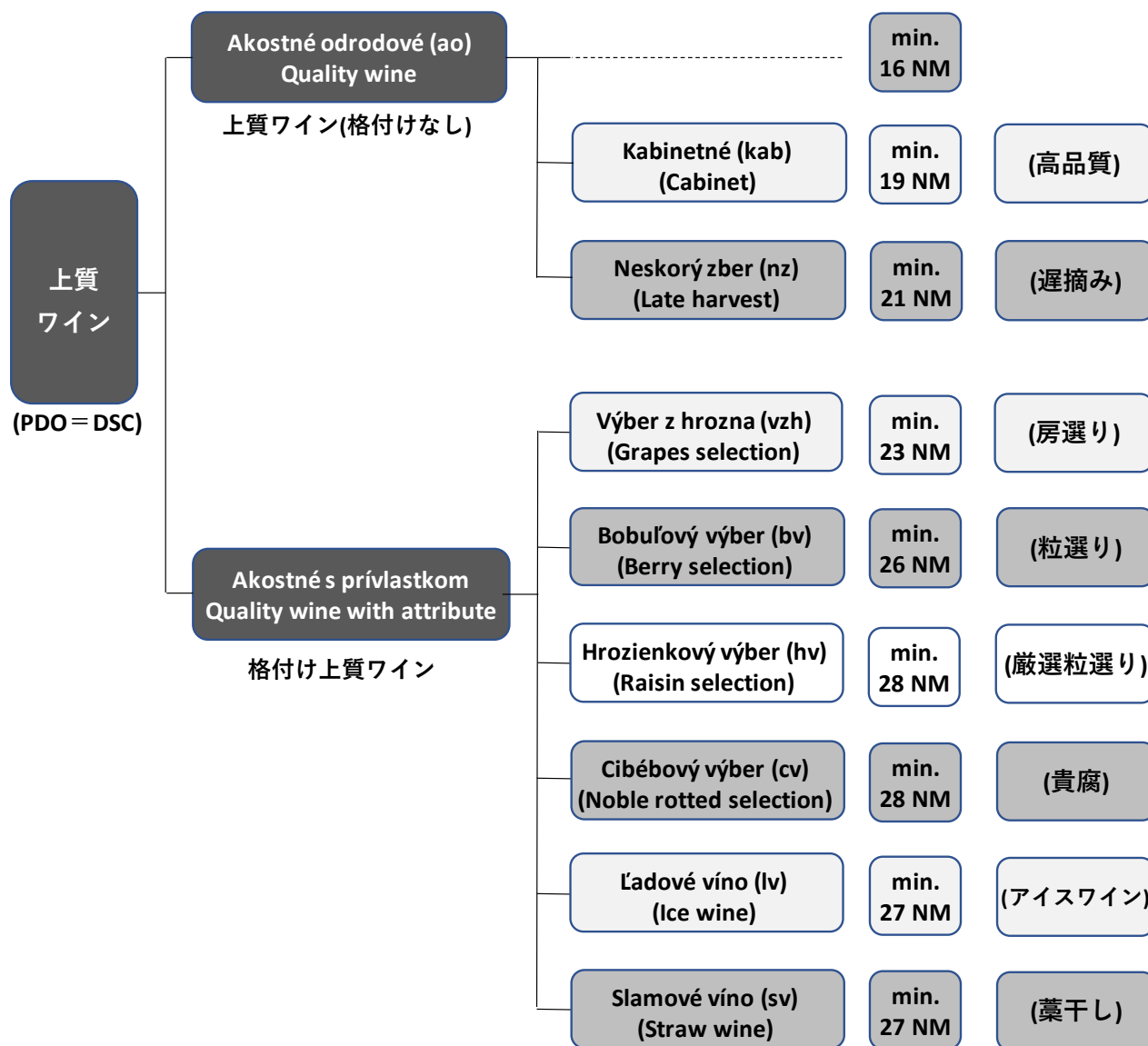
- ①テーブルワイン (地理的表示のないワイン 最低糖度13NM)
- ②地理的表示保護ワイン (PGI)
- ③原産地呼称保護ワイン (PDO、スロバキア原産地保護指定品)

※DSC又はD.S.C=Districtus Slovakia Controlatus)と同義



ワイン法と品質分類

更に葡萄の糖度により下図の様に分類される。



現在のスロヴァキアのワインの分類は、上記表の通り、2009年に施行されたEUのワイン法に準拠し原産地の考え方を取り込む一方で、各生産地のワイン造りは日々進化し続けており、地域毎に適した葡萄を栽培・ブレンドしたワインや土着・固有品種を交配した葡萄で醸造したワインも珍しくないのが現状である。

ワインの産地と特徴

1) Malokarpatská マロカルパツカ【小カルパチア地域】

葡萄栽培面積 5,392ha
 平均降雨量 600mm
 平均気温 11℃
 生育期間中の平均気温 17.2℃
 生育期間中の総日照時間 2,100時間
 スロバキアの生産地域の中でも最も歴史的に古くからワイン生産で名を馳せていたエリア。土壌は多様であるが主として小カルパチア丘陵を流れる河川の扇状堆積地で痩せた粘土。南西部には風成砂の土壌も多く見られる。葡萄生育期間中の昼夜の寒暖差が大きく、15℃を上回ることもある。葡萄品種として白はヴェルトリンスケ・ゼレネ、リースリング・ヴラスキー、赤はフランコフカ・モドラ、モドリー・ポーチュガル(ブラウアー・ポルトギーザー)が多く見られる。



2) Južnoslovenská ユズノスロヴェンスカ【南スロバキア地域】

葡萄栽培面積 5,345ha
 平均降雨量 540mm
 平均気温 11.8℃
 生育期間中の平均気温 18.3℃
 生育期間中の総日照時間 2,100時間
 この地域はスロバキア内で最も暖かい地域で、夏場は長期間最高気温が30℃を超えスロバキア国内の他の地域に比べ葡萄の生育期間を2週間以上長くとることが出来る。東部と南部は黄土が基本土壌であるのに対して西部はドナウ川の堆積物及び砂質礫が基本土壌となっている。他の地域同様、多様な品種が栽培されているが、シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブラン、カベルネ・ソーヴィニヨン等の国際品種が多く栽培されている。



3) Nitra ニトラ 【ニトラ地域】

葡萄栽培面積	3,903ha
平均降雨量	570mm
平均気温	11.3℃
生育期間中の平均気温	17.6℃
生育期間中の総日照時間	2,100時間

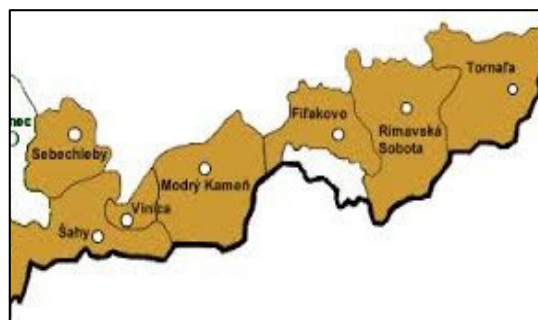
葡萄品種も土壌も非常に多様性に富み、ある意味で典型的なスロバキアとも言える地域で非常に温暖で乾燥した低地気候帯である。鉍物基盤を持つ石灰岩質土壌も多く見られる。



4) Stredoslovenská ストレドロヴェンスカ 【中央スロバキア地域】

葡萄栽培面積	2,502ha
平均降雨量	660mm
平均気温	11℃
生育期間中の平均気温	17℃
生育期間中の総日照時間	2,000時間

主に火山性の凝灰岩質の粘土とロームから成る土壌。
比較的温暖で乾燥した地域である。



5) Východoslovenská ヴィホドスロヴェンスカ 【東スロバキア地域】

葡萄栽培面積	1,074ha
平均降雨量	680mm
平均気温	10.8℃
生育期間中の平均気温	16.9℃
生育期間中の総日照時間	1,800時間

スロバキア内で最も新しいワイン生産地域で、ウクライナ平原の大陸性気候の影響を受ける。
主に火山性の凝灰岩質土壌である。



6) Tokaj トカイ 【トカイ地域】

葡萄栽培面積 908ha
 平均降雨量 550mm
 平均気温 10.3℃
 生育期間中の平均気温 16.5℃
 生育期間中の総日照時間 1,900時間
 「トカイ」という村と山の名前はスラブ語に起源を持つとされており、その名はボドログ (Bodrog) とティサ (Tisa) という「2つの川の合流点」と大まかに呼ばれる単語「ストカイ」 (stokaj) に由来する。
 1920年のトリアノン条約によりオーストリア・ハンガリー帝国から新たなチェコスロバキア (現在のスロバキア) に割譲されて以来、長くスロバキアのトカイ呼称について協議



されて来たが、2010年のEUの採択により呼称を認められ、最終的には2012年に欧州司法裁判所によってハンガリー、スロバキア両国での呼称が認められた。

太古の火山活動による火山性の土壌と秋の昼夜の寒暖差からもたらされる霧がこの地を特徴づけている。

葡萄品種はフルミント (Furmint)、リポヴィナ (Lipovina = Hárslevelű), ムスカート・ズルティ (Muskát žltý = Yellow muscat), ゼータ (Zeta) が認められている。

品質区分等はほぼハンガリーと同じ基準であったが、2013年にハンガリーのトカイに関するワイン法の変更により、スロバキアの方が旧来のイメージの表記区分を変わず維持していることになっている。トカイ全体の最も北側の15%がスロヴァキア側にある。

トカイワインの品質基準

Tokajská výberová esencia トカイスカ ヴィベロヴァ エセンシア (残糖度 180g/L以上)

Tokajský výber 6 putňový トカイスキー ヴィーベル 6プットニョヴィ (残糖度 150g/L以上)

Tokajský výber 5 putňový トカイスキー ヴィーベル 5プットニョヴィ (残糖度 120g/L以上)

Tokajský výber 4 putňový トカイスキー ヴィーベル 4プットニョヴィ (残糖度 90g/L以上)

Tokajský výber 3 putňový トカイスキー ヴィーベル 3プットニョヴィ (残糖度 60g/L以上)

Tokajské samorodné トカイスケ サモロドネ suché = 辛口 sladké = 甘口

食文化と料理

スロバキアではワインは生活の一部となっており、まさに日常生活に溶け込んでいるといえる。人々は生活の中で、自然な形でワインを楽しんでいる。雄大な自然とワインライフ、まさにその土地に根差した食とワインを象徴していると感じる。歴史的にも、ハンガリー・オーストリア二重帝国の支配下にあたり、チェコスロバキアの一部であったこと、今日も四囲を文化の異なる5か国にと接していることが食文化の多様化に影響を与えている。

お料理はジャガイモ、乳製品、豚肉、キャベツを使った家庭料理が特徴的であるが、代表的なお料理とワインペアリングの例を紹介したい。

<スロバキア家庭料理とワインペアリング>

①ヌードル、ニンジン、チキンコンソメスープ

スロバキアの伝統的な料理で、全国で広く飲まれている。昔から多くの家庭で日曜日の昼食時に飲まれている。また、このスープは日曜日だけではなく特別な日にも出され、「おばあちゃんスープ」とも言われている。
(ペアリング推奨ワイン: Veltínske zelené)



②鶏肉パプリカーシュ&ニョッキ

ハンガリーの影響を受けたスロバキアの伝統的な料理。鶏肉や牛肉、子牛肉、子羊肉または豚肉、ウサギ肉から作られているが、鶏肉が多い。
(ペアリング推奨ワイン: 辛口のMuškát žltý =Yellow Muscat)



③アヒルの焼き物&赤いキャベツ添え & ロクシャ(ジャガイモパンケーキ)

アヒルと赤いキャベツはトカイ地方の伝統的な料理、9月～10月がシーズン。ロクシャはスロバキアとチェコのモラヴィア南部の料理で人気のあるジャガイモのパンケーキ
(ペアリング推奨ワイン: Samorodné suché)



④チキンもも肉 マッシュポテトとベーコン添え

スロバキア全国で食べられている料理で、ライス、マッシュポテト、焼いたポテト、グリルした野菜やピクルスが添えられることが多い。
(ペアリング推奨ワイン: Frankovka modrá)



⑤洋ナシとナッツのデザート

「焼いた洋ナシ」がスロバキアで人気のデザート。作り方は家庭やレストランによって様々だが、ワイナリーでは赤ワインソースとともに出されることが多い。
(ペアリング推奨ワイン: Devín)



白葡萄品種 (Vitis vinifera) の栽培面積 (ha) (2022/7/31現在)

葡萄品種	栽培面積 合計	収穫できる 葡萄畑	収穫できない 葡萄畑(4年以下)	耕作されて いない葡萄畑
Aurelius	14.4	14.2	0.2	0.0
Bouvierovo hrozno	8.3	8.0	0.3	0.0
Breslava	7.2	6.6	0.6	0.0
Devín	192.1	161.3	29.4	1.4
Dievčie hrozno	171.6	131.9	0.0	39.7
Feteasca regala	164.3	138.6	10.1	15.6
Hetera	2.4	1.5	0.9	0.0
Hossa	0.3	0.1	0.2	0.0
Chardonnay	440.6	368.3	69.2	3.2
Irsai Oliver	397.7	262.1	103.3	32.4
Mília	16.2	6.8	9.4	0.0
Muškrát moravský	238.7	174.4	61.2	3.0
Muškrát Ottonel	46.3	36.2	1.4	8.7
Müller-Thurgau	778.2	604.9	25.5	147.8
Neuburské	14.6	14.5	0.0	0.1
Noria	17.6	7.3	10.3	0.0
Pálava	248.2	155.9	92.3	0.0
Rizling rituál	1.8	1.4	0.5	0.0
Rizling rýnsky	721.3	595.2	59.4	66.7
Rizling vlašský	1,462.0	1,096.4	76.8	288.8
Rothgipfler	0.0	0.0	0.0	0.0
Rulandské biele	535.4	394.3	50.7	90.4
Rulandské šedé	478.5	352.0	107.7	18.8
Sauvignon	356.8	270.7	75.7	10.5
Silvaner Roth	0.0	0.0	0.0	0.0
Silvánske zelené	137.5	120.7	6.1	10.7
Tramín červený	464.4	283.8	98.7	81.8
Veltlínske červené skoré	107.2	70.1	0.0	37.1
Veltlínske zelené	1,926.6	892.2	64.5	970.0
Zierfahndler Roth	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	8,950.3	6,169.3	954.4	1,826.6
トカイ葡萄品種				
Furmint	310.2	303.2	2.6	4.4
Lipovina	196.3	177.6	16.6	2.1
Muškrát žltý	185.2	148.5	36.6	0.2
合計	691.7	629.2	55.9	6.6

Source: ÚKSÚP(中央農業検査機関)

黒葡萄品種(Vitis vinifera)の栽培面積(ha) (2022/7/31現在)

葡萄品種	栽培面積 合計	収穫できる 葡萄畑	収穫できない 葡萄畑(4年以下)	耕作されて いない葡萄畑
Alibernet	242.1	232.2	8.5	1.4
André	160.8	142.1	0.0	18.7
Cabernet Sauvignon	675.2	560.1	113.4	1.8
Dunaj	220.8	136.3	80.9	3.6
Frankovka modrá	1,257.5	1,101.5	91.5	64.5
Hron	56.5	10.1	46.4	0.0
Modrý Portugal	90.4	79.1	4.6	6.7
Neronet	33.1	29.1	4.1	0.0
Nitria	26.4	6.2	20.2	0.0
Rimava	1.2	1.2	0.0	0.0
Rosa	4.6	3.4	1.2	0.0
Rudava	3.9	2.6	1.3	0.0
Rulandské modré	252.2	219.8	22.7	9.8
Svätovavrinské	805.5	735.8	10.0	59.7
Torysa	4.5	2.7	1.8	0.0
Váh	8.9	4.3	4.6	0.0
Zweigeltrebe	116.7	111.4	0.1	5.2
合計	3,960.4	3,377.9	411.2	171.4

Source: ÚKSÚP(中央農業検査機関)

葡萄産地別ワイン生産者数 (2022/7/31現在)

葡萄産地名	ワイン生産者数	割合
Južnoslovenská(南スロバキア産地)	127	16.5%
Malokarpatská(小カルパチア産地)	383	49.8%
Nitrianska(ニトラ産地)	125	16.3%
Stredoslovenská(中央スロバキア産地)	40	5.2%
Východoslovenská(東スロバキア産地)	32	4.2%
Tokaj(トカイ産地)	36	4.7%
上記葡萄産地以外	26	3.4%
合計	769	100.0%

Source: ÚKSÚP(中央農業検査機関)

スロバキアのワイン消費量

項目	単位	2017	2018	2019	2020	2021	2021/20(%)
合計消費量	1000L	68,612	68,987	77,977	70,642	70,746	0.1
国民1人当たりの消費量	L	12.6	12.7	14.3	12.9	13.0	0.8
18歳以上国民1人当たり消費量	L	15.5	15.5	17.6	15.9	16.1	1.3

Source: スロバキア統計局

MEMO